

4. 評価グリッド (和文)

「シリア国： リプロダクティブヘルス強化プロジェクト終了時評価調査」 評価グリッド

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
1. 実績の検証	1-1. 上位目標達成の見込み	上位目標:「アレップ県マンベジ郡における MCH・RH に関する状況が向上する。」ことがプロジェクト終了後数年内に見込まれるか?	<ul style="list-style-type: none"> 熟練助産者(SBA)による分娩が増加する 家族計画の実践者が増加する。 カップル内での同意による家族計画の実践数が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> 指標 1 技能者立会いによる出産割合が増加する。 指標 2 FP 実行率が上昇する。 指標 3 家族計画に関して合同で決定する夫婦の数が増加する。 	<ul style="list-style-type: none"> KAP 調査レビュー プロジェクト関連資料レビュー
	1-2. プロジェクト目標達成の見込み	プロジェクト目標:「アレップ県マンベジ郡において、質の高い MCH・RH サービスの利用が増加する。」が達成されているか?	<ul style="list-style-type: none"> 目標値と現状の比較 母子保健・リプロダクティブヘルスの内容 	<ul style="list-style-type: none"> 指標 1 HC において予防接種以外のサービスを受けたものの割合が増える。 指標 2 過去 2 年の妊娠において、産前健診を 4 回以上受けたものの割合が増える。 指標 3 正しい知識をもって、産前健診を受けた妊産婦の割合が増加する。 指標 4 過去 2 年の妊娠において、産後健診を受けた母親の割合が増える。 指標 5 正しい知識をもって産後健診を受けた母親の割合が増加する。 指標 6 HC における RH サービスに対して満足する人の割合が増加する。 ANC を受けた妊産婦の割合 PNC を受けた妊産婦の割合等の変化(定性的データ収集) 	<ul style="list-style-type: none"> KAP 調査レビュー プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、ドナー(UNFPA、WHO)間き取り

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
1-3. 成果(アウトプット)の達成状況	成果1:「マンベジ郡のHCにおいてMCH・RHの質が向上する。」が達成されているか？		<ul style="list-style-type: none"> ・目標値と現状の比較 ・母子保健・リプロダクティブヘルスサービスの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標 1-1 HC アセスメントにおいて基準の8割を満たすHCが増加する。 ・指標 1-2 すべてのHCが月例会議において、モニタリング結果について議論し、結果をサービスの改善につなげる。 ・指標 1-3 ミニマム・パッケージで規定されたサポート・サービスを受け、結果をサービス改善につなげる。 ・指標 1-3-1 すべてのHCが何らかのスーパービジョンを最低でも2ヶ月に1回受け、その結果がサービス改善につながる。 ・指標 1-3-2 HDOは、6ヶ月に1回、アレポ保健局のスーパービジョンを受け、その結果がサービス改善につながる。 ・指標 1-4 保健省とアレポ県より認証を受けるHCの数が増加する。 ・関連する成果物・研修の内容・参加者等 ・HCによるサービスの内容 ・スーパービジョン・フォローアップの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト関連資料レビュー ・HC パフォーマンスアセスメント ・Health District Office (HDO)の記録レビュー ・「シ」国側 CP(アレポ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC 聞き取り
		成果2:「3つのパイロットサイト(マンベジ、アルカフセ、マスカネ)において、コミュニティーの住民におけるRHへの意識が向上し、RHに関する行動変容が促進される。」が達成されているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値と現状の比較 ・コミュニティーメンバーの行動変革の具体的な内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・指標 2-1 家庭訪問によって、保健施設にリアフォーされる女性の数が増加する。 ・指標 2-2 3パイロット地域において、「ANC、FP、出産間隔、女性特有のがん」の知識をもった女性が増える。 ・指標 2-3 FPの利用に関して反対する夫の割合が減少する。 ・指標 2-4 過去2年間に於けるFP実行率が上昇する。 ・CHV、CBWGの活動状況 ・セミナー、ワークショップ、家庭訪問の現状・内容 ・導入されたマザーズカードの普及率・利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・KAP 調査レビュー ・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(アレポ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、コミュニティー/CBWG(リーダー、組合(Women's Federation)等)聞き取り、CHVによるフォーカスグループディスカッション、HCの利用者への聞き取り

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法	
	大項目	小項目				
2 実施プロセス	1-4. 投入の実施状況	成果 3:「中央レベル・県レベル、郡レベルにおいて、プロジェクト活動および MCH・RH に関する課題について支持される。」が達成されているか？	<ul style="list-style-type: none"> 目標値と現状の比較 アドボカシー活動の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 指標 3-1 プロジェクトが、新聞、ラジオ、テレビおよび公式なスピーチにおいて言及される回数が増える。 指標 3-2 プロジェクトの成果が他地域で紹介される。 実施されたキャンペーンの内容 プロジェクト情報の文書化の現状 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC 聞き取り 	
		成果 4:「マンベジ郡においてプロジェクト活動のモニタリング・評価が強化される。」が達成されているか？	<ul style="list-style-type: none"> 目標値と現状の比較 モニタリング・評価の枠組み及び実施体制 	<ul style="list-style-type: none"> 指標 4-1 PDM の指標に関連するデータが半年に一度集められ、報告される。 指標 4-2 アレップ PHC 部およびマンベジ郡保健事務所が、(モニタリングの結果を)定期的にフィードバックする。(保健事務所における月例会議、スーパービジョン、公式レター等)。 CHV による情報収集の実施状況 レポートインク・モニタリングシステムの実施状況 投入の実施状況 (機材、専門家、現地活動費) 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー Health District Office (HDO) の記録レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC、ドナー (UNFPA、WHO) 聞き取り、CHV によるフォーカスグループインタビュー 	
	2-1. 活動実施状況	1-4-1. 日本側投入は予定通り実施されたか？	計画と現状の比較	投入時期・投入量の妥当性、専門家の専門性	投入の実施状況 (現地活動費)	プロジェクト関連資料レビュー
		1-4-2. 日本側投入の内容は適切であったか？	計画と現状の比較	投入の実施状況 (現地活動費)	投入時期・投入量の妥当性	プロジェクト関連資料レビュー
		1-4-3. 「シ」国側投入は予定通り実施されたか？	計画と現状の比較	投入の実施状況 (現地活動費)	投入時期・投入量の妥当性	プロジェクト関連資料レビュー
		1-4-4. 「シ」国側投入の内容は適切であったか？	計画と現状の比較	投入の実施状況 (現地活動費)	投入時期・投入量の妥当性	プロジェクト関連資料レビュー
	2-2. 技術移転	2-1-1. 活動は計画通り実施されてきているか？	計画と現状の比較	プロジェクト活動の実施状況 (投入時期・投入量の妥当性)	各分野における技術移転の方法、内容	プロジェクト関連資料レビュー
		2-2-1. 技術移転の方法に問題はないか？本プロジェクトにおいて、特記すべき技術移転の特性等はないか？		技術移転対象者の数と背景	技術移転の特徴	技術移転の変遷
	2-3. モニタリング	2-3-1. プロジェクトの進捗モニタリングは誰が、どのように、どのような頻度で実施し、その結果がプロジェクト運営に反映されているか？		モニタリングの仕組み	フィードバックの体制	プロジェクト関連資料レビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
2. 実施プロセス	2-4. 意思決定プロセス	2-4-1. 活動の変更、人員・地域の選定等にかかる決定はどのようなプロセスでなされているのか？		・意思決定のプロセス、それに起因する問題点	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家間取り
	2-5. 関係者との関わり方(コミュニケーション)	2-5-1. JICA シリア事務所とプロジェクトチームのコミュニケーション(協議、連絡の頻度、内容)は効果的に行われているか？		・コミュニケーションの頻度、方法 ・計画変更時の対応状況 ・協力内容	・プロジェクト関連資料レビュー ・JICA シリア事務所、プロジェクト専門家間取り
		2-5-2. プロジェクトチーム内のコミュニケーション(プロジェクト専門家、業務調整員、短期専門家)の仕組みは効果的に行われているか？		・コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況 ・共同作業時間、頻度 ・共同で取り組む課題の解決方法	・プロジェクト関連資料レビュー ・プロジェクト専門家間取り
		2-5-3. 日本とシリア間でコミュニケーションの問題は何か発生しているか？またその原因は何か？		・語学、習慣、宗教等に関する日本-シリア間の問題はないか？ ・その対策はとっているか？	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家、JICA シリア事務所間取り
	2-6. プロジェクト実施期間	2-5-4. 「シ」国側の実施体制のコミュニケーションは円滑に行われているか？		・コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況 ・共同作業時間、頻度 ・共同で取り組む課題の解決方法	・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC 間取り
		2-6-1 3 年(実質 2 年 10 ヶ月)は実施期間として適切であったか？		・関係者の意見 ・プロジェクトによる技術の定着度	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家間取り
	2-7. オーナーシップ・自主性	2-7-1. 実施機関や CP のプロジェクトに対する認識は高いか？(関係機関やターゲットグループのプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか？)		・プロジェクトに対する期待 ・プロジェクトへの貢献度合い ・プロジェクトからの影響の認識	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家間取り
	2-8. カウンターパート(CP)	2-8-1. 適切な CP が配置されているか？また、CP がプロジェクト活動にどのように関わっているか？		・CP の配置状況 ・CP のプロジェクト活動参加状況	・プロジェクト関連資料レビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
3 妥当性	2-9. その他	2-9-1. その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題はあるか？またその原因は何か？		・そのほかの提示された問題点とその原因	・「シ」国側 CP(保健省、アレppo 県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC、コミュニティ/CBWG(リーダー、組合(Women's Federation)等)、プロジェクト専門家聞き取り、CHVによるフォーカスグループディスカッション
		3-1. 必要性	・現時点でも対象地域・社会のニーズに合致しているか？ ・現時点でもターゲットグループのニーズに合致しているか？ ・現時点でも「シ」国の開発政策との整合性はあるか？	・シリア国及び現地(県、郡)のニーズ	・第10次社会経済計画5カ年計画レビュー
	3-2. 優先度	・現時点でも日本の援助政策・JICA 国別事業実施計画との整合性はあるか？	・「シ」国の開発政策や公衆衛生政策	・第10次社会経済計画5カ年計画、国家リプログラムヘルス戦略等レビュー ・日本の対シリア援助政策、JICA 年報等のレビュー	
	3-3. 手段としての適切性	・現時点でもプロジェクトは「シ」国のリプログラムヘルス向上の開発課題に対する効果をあげる戦略として適切か？ ・現時点でもターゲットグループの選定は適正か？ ・ターゲットグループ以外への波及性はあったか？ ・効果の受益や費用の負担が公平に分配されたか？ ・日本の技術の優位性はあったか？	・日本国の対シリア国援助の重点課題・援助方針 ・JICA 国別事業実施計画 ・プロジェクトのアプローチ ・対象地域は適切な選択だったか ・他ドナーとの援助協調においてどのような相乗効果があったか ・ターゲットグループの対象、規模 ・ターゲットグループ以外への波及の枠組み ・貧困層や女性に受益が公平に分配されたか ・日本に対象技術のノウハウが蓄積されているか ・日本の経験を生かされたか ・政策、経済、社会面での定性的・定量的変化を示す情報	・プロジェクト関連資料レビュー ・ドナー(UNFPA、WHO)聞き取り ・プロジェクト関連資料レビュー ・プロジェクト関連資料レビュー ・プロジェクト関連資料レビュー ・プロジェクト関連資料レビュー ・プロジェクト関連資料レビュー	
3-4. その他	・運営指導調査、中間レビュー以降のプロジェクトをとりまく環境(政策、経済、社会など)の変化はあったか？	・状況の変化の度合い・内容	・プロジェクト関連資料レビュー		

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
4. 有効性	4-1. プロジェクト目標の達成	・プロジェクト目標は達成されたか、もしくは達成される見込みはあるか？	・プロジェクト目標の達成度合い	・プロジェクト目標の達成度合い(「1. 実績の検証」に既述)	・プロジェクト関連資料レビュー
		・アウトプット1～4はプロジェクト目標の達成に貢献したか	・アウトプットの達成度合い	・アウトプット1に関して、ヘルスセンターにおけるサービスの向上が母子保健・リプロダクティブヘルスの利用の増加に貢献しているか検討する ・アウトプット2に関して、コミュニティメンバーの意識向上が母子保健・リプロダクティブヘルスの利用の増加に貢献しているか検討する ・アウトプット3に関して、中央・県・郡の各レベルにおけるアドボカシー活動が母子保健・リプロダクティブヘルスのサービスの利用の増加に貢献しているか検討する ・アウトプット4に関して、モニタリング・評価体制の強化が母子保健・リプロダクティブヘルスの利用の増加に貢献しているか検討する	・プロジェクト関連資料レビュー
	4-3. 阻害・貢献要因	・「アウトプットが達成されればプロジェクト目標が達成できるだろう」という論理に無理はなかったか？	・因果関係の検証	・各アウトプットとプロジェクト目標の関係	・プロジェクト関連資料レビュー
		・アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件は、現時点においても正しいか？ ・外部条件の影響はあったか？ ・プロジェクト目標達成の阻害・貢献要因は何か？	・外部条件の検証	・外部条件の影響	・外部条件の影響
5. 効率性	5-1. アウトプットの達成	・アウトプットの達成状況は適切か？	・アウトプット達成の検証	・アウトプットの達成状況(「1. 実績の検証」部分参照)	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CPR(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、プロジェクト専門家間取り
		・アウトプットを達成するために十分な活動であったか？	・アウトプット達成の検証	・活動実績、アウトプットの達成状況	・プロジェクト関連資料レビュー
	5-2. 因果関係	・アウトプットを達成するために十分な投入であったか？	・アウトプット達成の検証	・投入実績、アウトプットの達成状況	・プロジェクト関連資料レビュー
		・活動からアウトプットに至るまでの外部条件は、現時点においても	・外部条件の検証	・外部条件の変化	・プロジェクト関連資料レビュー

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
5 効率性	5-3. 活動の成果	正しいか？			
		・外部条件の影響はあったか？ ・活動成果は十分に活用されているか？		・活動内容 ・活動成果の達成状況	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレッポ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家間取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション
	5-4. 活動のタイムイン	・活動を行うために過不足ない量・質の投入が実施されたか？		・活動のための投入の量・質	・プロジェクト関連資料レビュー
		・活動はタイムインが良く実施されたか？		・活動実施・終了のタイミング	・プロジェクト関連資料レビュー
	5-5. コスト	・アウトプットは投入コストに見合ったものか？(より低いコストで達成する代替手段はなかったか？ 同じコストでより高い達成度を実現することは出来なかったか？)		・投入コスト及びアウトプットの達成具合	・プロジェクト関連資料レビュー
6-1. 上位目標達成の見込み	・プロジェクト目標の達成は投入コストに見合ったものか？(より低いコストで達成する代替手段はなかったか？ 同じコストでより高い達成度を実現することは出来なかったか？)		・投入コスト及びプロジェクト目標の達成具合	・プロジェクト関連資料レビュー	
	・投入・アウトプットの実績、活動の状況に照らし合わせて、上位目標はプロジェクトの効果として発現が見込まれるか？(事後の評価において効果の検証が出来るか？)		・上位目標達成の見込み	・上位目標の達成度合い(1.「実績の検証」部分参照)	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレッポ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家間取り
6-2. 因果関係	・上位目標の達成を阻害する要因はあるか？		・阻害要因	・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレッポ県 PHC 局)、マンベジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家間取り
	・上位目標とプロジェクト目標は乖		・因果関係の検証	・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・プロジェクト関連資料レビュー
6 インパクト					

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
		<p>離していないか？(非現実的な状況はないか？)</p> <p>・プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は現時点において正しいか？ 外部条件が満たされる可能性は高いか？</p> <p>・上位目標以外の正負のインパクトは生じたか？(政策的、文化的、経済的、技術的影響、環境、ジェンダーに対する影響等)</p>	<p>タ</p> <p>・外部条件の検証</p>	<p>タ</p> <p>・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ</p>	<p>・プロジェクト関連資料レビュー</p>
	6-3. 波及効果			<p>タ</p> <p>・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ</p>	<p>・プロジェクト関連資料レビュー</p> <p>・[シ]国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家聞き取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション</p>
		<p>・政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響は生じたか？(省レベル、県レベル)</p> <p>・何か予期しなかった影響/インパクトはあるか？(特に負の影響)</p>		<p>タ</p> <p>・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ</p>	<p>・プロジェクト関連資料レビュー</p> <p>・[シ]国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家聞き取り</p> <p>・プロジェクト関連資料レビュー</p> <p>・[シ]国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家聞き取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション</p>
				<p>タ</p> <p>・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ</p>	<p>・プロジェクト関連資料レビュー</p> <p>・組織表入手・レビュー</p>
7. 自立発展性	7-1. 組織面	<p>・協力終了後も効果を上げていくための活動を実施するに足る組織能力はあるか？(人材配置、意思決定プロセスなど)</p> <p>・実施機関のプロジェクトに対するオーナーシップは、十分に確保されているか？</p>	<p>・組織の能力は十分であるか</p> <p>・オーナーシップの有無</p>	<p>・保健省、アレップ県、マンバジ郡の組織体制の状況</p> <p>タ</p> <p>・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ</p>	<p>・プロジェクト関連資料レビュー</p> <p>・[シ]国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家聞き取り</p>

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
7-2. 財政面		・経常経費を含む予算の確保は行われているか？ 当該国側の予算措置は十分に講じられているか？	・予算確保は十分か	・保健省、アレップ県、マンバジ郡の予算動向	・「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所聞き取り ・予算書入手・レビュー
		・プロジェクト実施により将来の予算が増える可能性はどの程度あるか？	・予算増額の見込み	・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所聞き取り
		・予算確保のための対策は十分か？	・予算確保のための対策の有無	・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所聞き取り
7-3. 技術面		・プロジェクトで用いられる技術移転の手法は、医療関係者、行政官レベルで受容されつつあるか？ (技術レベルの側面、社会的・慣習的要因などと齟齬がないか)		・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC、コミュニティ/CBWG(リーダー、組合(Women's Federation)等)、プロジェクト専門家聞き取り、CHV によるフォーカスグループインタビュー
		・資機材の維持管理は適切に行われているか？	・資機材維持管理のシステム ・資機材の現状	・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・プロジェクト関連資料レビュー ・アレップ県 PHC 局、マンバジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家聞き取り ・管理台帳等入手・レビュー ・供与機材直接視察
		・移転された技術の普及のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか？	・普及管理のシステム	・普及管理のシステムを裏付けるデータ・記述	・プロジェクト関連資料レビュー
		・実施機関が普及のメカニズムを維持できる可能性はどの程度あるのか？ 特に、上位機関(保健省、県保健局、郡保健事務所)の役割はどうかであったか？		・左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ	・プロジェクト関連資料レビュー ・「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家、「シ」国内協力機関(SFPA、Agakhan)聞き取り

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法	
	大項目	小項目				
7. 自立発展性		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトで得られた技術は他組織/地域へ普及できる技術であるか？マンバジモデルの他地域への普及の際のプロジェクトの「売り」は何か？ 	<ul style="list-style-type: none"> 「シ」国の実情に合致した適性技術であるか 	<ul style="list-style-type: none"> 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家、HC、「シ」国内協力機関(SFPA、Agakhan)聞き取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション 	
	7-4. 政策・制度面	<ul style="list-style-type: none"> 政策支援は協力終了後も継続するか？ 関連規制、法制度は整備されているか？ 整備される予定か？ 		<ul style="list-style-type: none"> 「シ」国政府の関連政策 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 「シ」国政府の政策・制度の整備の見込み 	<ul style="list-style-type: none"> 「シ」国政府の関連政策及びプロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家聞き取り 関連規制・法、関係者の職務レビュー プロジェクト関連資料レビュー 	
	7-5 社会・文化・環境面	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトの利益の広がり支援する政策・制度面取り組みが担保されているか？ 女性、貧困層、社会的弱者への配慮不足により、持続的効果を妨げる可能性はないか？ 環境への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家、HC、プロジェクト専門家聞き取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション 	
	7-6. その他	<ul style="list-style-type: none"> 予期されなかったプロジェクトの効果の持続発展の阻害要因・促進要因は認められるか？認められるとすると何か？ 	<ul style="list-style-type: none"> 阻害要因・促進要因の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、HC、プロジェクト専門家聞き取り、CHV によるフォーカスグループディスカッション 	

評価項目	評価設問		判断基準・方法	必要なデータ/指標	情報源・データ収集方法
	大項目	小項目			
	7-7. 総合的自立 発展性	<ul style="list-style-type: none"> 上記のような側面を総合的に勘案して、自立発展性は高いのか低いのか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 左記に関する関係者意見およびそれを裏付けるデータ 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト関連資料レビュー 「シ」国側 CP(保健省、アレップ県 PHC 局)、マンバジ郡保健事務所、プロジェクト専門家間取り

5. インタビュー項目表

Targets		Focus aspects of interview	Research methods
1	MOH (PSC) Dr. Khalid (Director of PHC dep.), Dr. Reem (Project director, Head of RH section)	-Overview of project achievement -Project's approaches -Factors of acceleration/obstacles of project implementation -Plan of dissemination of project outcome into other health directorates -Sustainability of the project outcomes in Syria (Information should be collected: Syrian recent PHC policy and new trends of population and RH policy and budget, MOH structure)	-Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
2	Aleppo Health directorate (PTC members) Dr. Wadah (Chairperson of PTC, Director of PHC dep.), Dr. Liqia (Project manager, Head of RH section of Aleppo)	-Overview of project achievement -Process of project implementation -Factors of acceleration/obstacles of project implementation -Expansion and Sustainability of the project outcomes in Aleppo	-Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
3	Manbej PTC Dr. Ahamd, Dr. Gahdire, Mr. Ibrahim (As a member of PTC)	-Project achievement -Process of project implementation -Project approaches -Factors of acceleration/obstacles of project implementation -Sustainability	-Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
4	Other PTC members (Heads of HC) Dr. Khalid, Dr. Ahamd Zazzuri, Dr. Abdla Lahamn	-Project achievement -Process of project implementation -Project approaches -Factors of acceleration/obstacles of project implementation -Sustainability	-Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
5	Heads of HC 16 Doctors (from all HC*)	-Effectiveness of trainings -Effectiveness and utilization of provided equipment and improvement HC environment -Effectiveness of supervision by Manbej HDO, sub-supervision and the project team -Their changes through project activities in terms of knowledge, skills and motivation -Changes of HC management and quality of services at HCs	-Simple questionnaire for all doctors -Interview by the consultant with interview sheet for selected heads of HCs (Please refer the results of questionnaire by the mid-term review in APPENDIX 17 of "Annual report 2007".)
6	MWs 19 MWs for RH services (from all)	-Effectiveness of trainings -Effectiveness and utilization of provided equipment and improvement HC	-Simple questionnaire for all doctors

	Targets	Focus aspects of interview	Research methods
	HCs*) environment	<ul style="list-style-type: none"> -Effectiveness of supervision by Manbej HDO, sub-supervision and the project team -Their changes through project activities in terms of knowledge, skills and motivation -Changes of quality and quantity of RH services at HCs 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with interview sheet for selected MWs of HCs (Please refer the results of questionnaire by the mid-term review in APPENDIX 17 of "Annual report 2007")
7	HC users At selected HC	<ul style="list-style-type: none"> -Recognition of changes of HCs -Knowledge and practice of ANC, PNC and FP -Satisfaction of RH services 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with simple interview sheet (No pre-questionnaire) (Please refer the results of Exit survey conducted in Sep. 2008)
8	CBWGs Selected CBWGs from 5 sites	<ul style="list-style-type: none"> -How to involve the CBWG activities -Their motivation and sustainability 	<ul style="list-style-type: none"> -FGI by the consultant with simple interview sheet (No pre-questionnaire)
9	CHVs Selected CHVs from 5 sites	<ul style="list-style-type: none"> -How to involve the CHV activities -Change of their capacity -Their motivation and sustainability 	<ul style="list-style-type: none"> -FGI by the consultant with simple interview sheet (No pre-questionnaire)
10	Collaboration of other organizations SFPA, Aga Kharn, Women's federation	<ul style="list-style-type: none"> -How to involve the JICA RH project -Opinions of the project approaches and achievement -Further suggestions 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
11	Donors UNFPA, WHO	<ul style="list-style-type: none"> -Opinions of the project approaches and achievement -Further suggestions 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
12	Japanese experts (3 experts) Chief advisor, Health/BCC, coordinator	<ul style="list-style-type: none"> -Overview of project achievement -Project's approaches -Process of project implementation -Factors of acceleration/obstacles of project implementation -Impacts of the project activities -Sustainability of the project outcomes in Syria 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)
13	JICA office	<ul style="list-style-type: none"> -Overview of project achievement -Process of project implementation -Sustainability of the project outcomes in Syria 	<ul style="list-style-type: none"> -Interview by the consultant with interview sheet (No pre-questionnaire)

Note: * 16 HCs are New Manbej, Al Osajiri, Abu Kahef, Tal Al Rafia, Al Farat, Mohtarak Kabeer, Al Hayeh, Haymer Labda, Abu Qalqal, Al Kafse, Tal Hozan, Al Mahdoom, Qaser Hadliah, Al Mahtat, Maskane, Mazarea Maskane

6. アンケート調査結果

I. 医師に対する質問質問票分析結果 (N=8)

0-1 現在の HC の勤務年数

	勤務年数
平均値	5.1
最大値	12
最小値	1.3
標準偏差	4.5

(単位：年)

1. 研修について

1-1 研修の参加状況 (複数回答)

	「参加した」と回答した回答数	「有益だ」と回答した回答数	うち有益だと回答した割合
フォローアップスタディツアー (2008年6月4-5日)	4	2	50.0%
エジプト研修 (2008年7月26-31日)	5	5	100%
マネジメント研修 (2008年8月14日)	6	3	50.0%

1-2 有益であったと回答した理由 (複数回答)

	回答数	割合
新しい知識の習得	7	87.5%
国際的な医療基準の習得	2	25.0%
技術の獲得	7	87.5%
モチベーションの向上	5	62.5%
同僚との問題についての議論	5	62.5%
他の HC の状況がわかったこと	7	87.5%
なし	0	0%
わからない	0	0%

1-3 上記研修が有益であった理由について (複数回答)

	回答数	割合
新しい知識の獲得	16	76.2%
カウンセリング技術の獲得	16	76.2%
技術の獲得	10	47.6%
モチベーションの向上	9	42.9%
同僚との問題についての議論	12	57.1%
他の HC の状況がわかったこと	8	38.1%
なし	0	0%
わからない	2	9.5%
回答なし	1	4.8%

2. スーパービジョンについて

2-1 プロジェクトチーム(日本人)によるスーパービジョンについて

	回答数	割合
効果的である	7	87.5%
効果的ではない*	1	12.5%
わからない	0	0%

* 大変効果的ではない

2-2 スーパービジョンのインパクトについて(複数回答)

	回答数	割合
HC の運営	6	75.0%
医療技術の移転	1	12.5%
スタッフのモチベーション	3	37.5%
わからない	0	0%
その他*	2	25.0%

* 現状の把握(良い面・悪い面)、他の HC との状況比較

2-3 スーパービジョンをまた受けたいか

	回答数	割合
はい	6	75.0%
いいえ	2	25.0%
わからない	0	0%

3. HC の環境整備について

3-1 供与機材の使用状況等について (複数回答)

	供与された		使われている	
	回答数	割合	回答数	割合
パンフレットスタンド	8	100%	8	100%
各部屋に備え付けられたプレート	8	100%	8	100%
体重計(子供用)	6	75.0%	6	75.0%
その他*	5	62.5%	6	75.0%

* その他として超音波測定器、TV モニター、オートクレイブ、ゴミ箱

3-2 パンフレットスタンドについて

Q. パンフレットスタンドに対して満足していますか？

	回答数	割合
はい	2	25.0%
いいえ	0	0%
わからない	0	0%
回答なし	6	75.0%

3-3 各部屋に備え付けられたプレートについて

Q. 各部屋に備え付けられたプレートに対して満足していますか？

	回答数	割合
はい	3	37.5%
いいえ	0	0%
わからない	0	0%
回答なし	5	62.5%

3-4 壁の塗装について

Q. 壁の塗装に満足していますか？

	回答数	割合	回答なしを除いた割合
はい	5	62.5%	100%
いいえ	0	0%	0%
わからない	0	0%	0%
回答なし	3	37.5%	

3-5 ホワイトボードの活用度について

Q. ホワイトボードは活用されていますか？

	回答数	割合
よく使用されている	1	12.5%
時々使用されている	1	12.5%
めったに使われていない	0	0%
使われていない	1	12.5%
わからない	1	12.5%
回答なし	4	50.0%

3-6 CD/DVD の活用度について

	回答数	割合	回答なしを除いた割合
よく使用されている	3	38%	67.7%
時々使用されている	1	13%	33.3%
めったに使われていない	0	0%	0%
使われていない	0	0%	0%
わからない	0	0%	0%
回答なし	4	50%	

3-7 CD/DVD の用途について (複数回答) (全体数 4 として計算)

	回答数	割合
教育用に使用	4	100%
情報の提供に使用	4	100%
わからない	0	0%
その他*	1	25%

* 事務連絡用に使用

3-8 超音波診断装置の活用度について

	回答数	割合	回答なしを除いた割合
よく使用されている	4	50%	100%
時々使用されている	0	0%	0%
めったに使われていない	0	0%	0%
使われていない	0	0%	0%
わからない	0	0%	0%
回答なし	4	50%	

3-9 サインボード(HC の看板)使用について

Q. サインボードは役に立っていますか？

	回答数	割合	回答なしを除いた割合
はい	4	50%	100%
いいえ	0	0%	0%
わからない	0	0%	0%
回答なし	4	50%	

4. 回答者自身に関する情報

4-1 居住地について

Q. どこから HC に通勤していますか？

	回答数	割合
アレppo	3	37.5%
マンベジ	3	37.5%
その他	2	25.0%

* Abu Qalqal, Al Khafse- Al Kayarieh Village、Maskane 等

4-2 今後必要と感じる知識や技術について (複数回答)

	回答数	割合
運営面	5	62.5%
リプロダクティブヘルス	3	37.5%
IUD挿入のスーパービジョン	1	13%
なし	0	0%
わからない	1	12.5%
その他*	2	25.0%

* 外来に関する技術、他のHCとのコミュニケーション

4-3 HC 長や医師としてのモチベーションについて (複数回答)

	回答数	割合
やりがいのある仕事	1	12.5%
新しい経験をすること	7	87.5%
技術や知識の向上	7	87.5%
医師としての権威	0	0%
高い給料	4	50.0%
旅費の支給	2	25.0%
高いモチベーションのスタッフ	6	75.0%
その他*	1	12.5%

* 他のスタッフを助けること

4-4 HC のクライアント数を増やすために必要なこと (複数回答)

	回答数	割合
高度な機材	8	100.0%
高品質の設備 (カーテン、ソファ ー、クッション)	3	37.5%
スタッフのクライアントに対する 親切な態度	8	100.0%
スタッフの医療知識や技術	5	62.5%
クライアントの意識	7	87.5%
宣伝・広告	2	25.0%
スタッフのモチベーション	4	50.0%
クライアントに対する催し・イベン ト	3	37.5%
その他*	1	12.5%

* 交通手段の供与

4-5 1 週間の HC への通勤回数

	回答数	割合
1 回	0	0%
2 回	0	0%
3 回	0	0%
4 回	1	12.5%
5 回(毎日)	7	87.5%
2 週間に 1 回	0	0%
時々	0	0%
通勤していない	0	0%

4-6 HC の勤務時間

	勤務時間
平均値	4.4
最大値	6.5
最小値	2.5
標準偏差	1.36

(単位：時間)

II. 助産師に対する質問票分析結果 (N=21)

0-1 現在の HC の勤務年数

	勤務年数
平均値	8.3
最大値	18
最小値	2.0
標準偏差	4.3

(単位：年)

1. 研修について

1-1 研修の参加状況 (複数回答)

	「参加した」と回答した回答数	「有益だ」と回答した回答数	うち有益であったと回答した割合
ヨルダNSTAディツァー (2008年1月19-24日)	7	5	71.4%
リフレッシュコース (2008年7月23日)	16	12	75.0%
IUD研修(2008年5月25日 -6月11日)	7	7	100%
ダマスカス研修(2008年7 月27-31日)	6	5	83.3%
レビューミーティング (2008年8月13日)	6	2	33.3%
IUD研修(2008年10月15日 -30日)	4	4	100%

1-2 有益であったと回答した理由 (複数回答)

	回答数	割合
新しい知識の獲得	16	76.2%
カウンセリング技術の獲得	16	76.2%
技術の獲得	10	47.6%
モチベーションの向上	9	42.9%
同僚との問題についての議論	12	57.1%
他のHCの状況がわかったこと	8	38.1%
なし	0	0%
わからない	2	10%
その他*	1	4.8%

* グループワークは有効であった。困った人に対する対処法を学んだ。

1-3 上記研修が有益であった理由について (複数回答)

	回答数	割合
新しい知識の獲得	16	76.2%
カウンセリング技術の獲得	16	76.2%
技術の獲得	10	47.6%
モチベーションの向上	9	42.9%
同僚との問題についての議論	12	57.1%
他のHCの状況がわかったこと	8	38.1%
なし	0	0%
わからない	2	9.5%
回答なし	1	4.8%

1-4 2008 年に実施された IUD 研修について

	回答数	割合
大変有益であった	10	47.6%
有益であった	3	14.3%
やや有益であった	1	4.8%
有益でない	0	0%
全く有益でない	0	0%
回答なし	7	33.3%

1-5 IUD 研修が有益であった理由について (複数回答)

	回答数	割合
新しい知識の獲得	8	38.1%
カウンセリング技術の獲得	10	47.6%
技術の獲得	7	33.3%
モチベーションの向上	4	19.0%
なし	0	0%
わからない	0	0%
回答なし	9	42.9%

2. 供与機材について

2-1 供与機材の使用状況について

Q. 以下の機材のうち使用されているものを選んでください (複数回答)

	回答数	割合
教育用フリップチャート	20	95.2%
診察台(産婦人科用)	20	95.2%
仕切り	20	95.2%
オートクレーブ	17	81.0%
診察用ライト	19	90.5%
血圧計	20	95.2%
IUD 一式	20	95.2%
体重計・身長測定機 (大人用)	20	95.2%
高圧蒸気滅菌器	20	95.2%
回答なし	1	4.8%

2-2 産前検診のサービスについて (複数回答)

Q. 産前検診において安全な妊娠のために何をしていますか? (複数回答)

	回答数	割合
体重を測定	20	95.2%
身長を測定	20	95.2%
血圧を測定	20	95.2%
浮腫の有無の検査	19	90.5%
陰部の洗浄	20	95.2%
胎児の心拍の確認	20	95.2%
胎児の動きの確認	20	95.2%
回答なし	1	4.8%

2-3 家族計画のサービスについて (複数回答)

Q. 新規のクライアントに対して家族計画に関して現在していることは何ですか? (複数回答)

	回答数	割合
家族計画のアドバイス	19	90.5%
家族計画方法の必要性の説明	18	85.7%
家族計画の方法	19	90.5%
適切な家族計画方法の説明	16	76.2%
適切な家族計画方法選択の補助	18	85.7%
次の面会日時の決定	19	90.5%
回答なし	2	9.5%

3. サポートイブスーパービジョンについて

3-1 サポートイブスーパービジョンは有益であったか

	回答数	割合
はい	20	95.2%
いいえ	0	0.0%
わからない	0	0%
回答なし	1	4.8%

3-2 サポートイブスーパービジョンのインパクトについて (複数回答)

	回答数	割合
医療技術の移転	8	38.1%
カウンセリングの技術	13	61.9%
モチベーションの維持	11	52.4%
わからない	0	0.0%
その他*	3	14.3%
回答なし	2	9.5%

* HC 間の違いを知ることができた、間違いの訂正・防止、情報の確認等

3-3 サポートイブスーパービジョンをまた受けたいか

	回答数	割合
はい	7	33.3%
いいえ	3	14.3%
わからない	8	38%
回答なし	3	14.3%

4. 回答者自身に関する情報

4-1 居住地について

Q. どこから HC に通勤していますか？

	回答数	割合
アレッポ	7	33.3%
マンベジ	4	19.0%
その他*	6	28.6%

* Al Mahatat Area、Abu Kahef Village、Maskane、Rasm Al Abkid Village、Ein Bou Mane'a Village 等

4-2 助産師としてのモチベーションについて (複数回答)

	回答数	割合
やりがいのある仕事	2	9.5%
新しい経験をすること	17	81.0%
技術や知識の向上	16	76.2%
医師としての権威	2	9.5%
高い給料	8	38.1%
旅費の支給	6	28.6%
高いモチベーションのスタッフ	4	19.0%
その他*	9	42.9%

* 他の助産師や助産師補の存在

4-3 クライアントに提供したいサービスについて (複数回答)

	回答数	割合
家族計画のカウンセリング	20	95.2%
IUD の挿入	18	85.7%
産前検診	16	76.2%
産後検診	13	61.9%
なし	1	4.8%
わからない	2	9.5%
その他	0	0%

4-4 業務を高めるための必要な知識や技術 (複数回答)

	回答数	割合
家族計画のカウンセリング	8	38.1%
IUD の挿入	7	33.3%
産前検診	7	33.3%
産後検診	8	38.1%
なし	9	42.9%
わからない	1	4.8%
その他*	2	9.5%

* STD、乳がん、情報(噂等)の管理について、婦人病に関する知識

4-5 1 週間の HC への通勤回数

	回答数	割合
1 回	0	0%
2 回	0	0%
3 回	2	10%
4 回	3	14.3%
5 回(毎日)	16	76.2%
2 週間に 1 回	0	0%
時々	0	0%
通勤していない	0	0%

4-6 HC の勤務時間

	勤務時間
平均値	5.7
最大値	7.5
最小値	2.0
標準偏差	1.19

(単位：時間)

その他のコメント等

供与された仕切りが安定せず、倒れること多数。体重計は正確な体重を示さない。